

第三者意見

全体を通して、「つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、『信頼のトップブランド』になることを目指します」という京王グループの理念が反映された良いレポートだと思います。現場の写真やステークホルダーの生の声が数多く掲載されており、CSRコミュニケーションの点でも優れた報告書となっています。

トップメッセージにあるように、現在、京王グループに求められているのは、ポストコロナに向けた様々な変化に対応した事業戦略を立案し、2030年代の事業環境においても持続可能な企業であり続けることです。同時に、引き続き、ESG(環境・社会・ガバナンス)やSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを通じて企業価値を向上させることも重要であり、次期中期経営計画は、その両方に目配りしたものとなることでしょう。今回のレポートでは、特集記事として、京王グループのSDGsへの取り組みが掲載されています。一昨年のレポートで初めて掲載されたSDGsの「17の目標」が、昨年のレポートでは「安全報告」「社会性報告」「環境報告」の各パート・カテゴリーと紐付けられ、今年のレポートでは、さらに具体的な京王グループの個々の事業活動と結びつけられているのが特徴です。すなわち、京王グループは、本業を通じて社会の持続的な発展に貢献している企業だと言えるでしょう。本業を通じたCSRは信頼性が高くなります。まずは、この点を高く評価したいと思います。

安全報告のパートでは、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」という方針に基づき、お客様に「安全」・「安心」を提供するための様々な取り組みが報告されています。2019年度も笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業は順調に進み、高架化のための準備工事が行われました。また、ホームドアや転落防止固定柵の新設等の安全対策も着実に推進されたようです。この一年間の京王グループの安全活動で特徴的なのは、台風などの異常気象への対応と、新型コロナウイルス感染防止対策です。いずれも、まさに目の前に突然現れた変化ですが、今後少なくとも数年間は、これらに柔軟かつ確実に対応することが「輸送の安全性」という、運輸事業者にとって重要な社会的使命を果たすために重要となるでしょう。京王グループでは、予測タイムラインによる計画運休や早期運転再開に向けた点検手法の確立などを通じて異常気象に大変積極的に取り組んでいます。また、手指や車両の消毒の徹底や窓開け・空調使用による車両の換気など、感染防止対策にも真摯に取り組んでおり、この点を高く評価したいと思います。

社会性報告のパートでは、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を目指す京王グループの取り組みが描かれています。京王電鉄は、2019年7～8月と2020年1月に、時差通勤を目的に「京王ライナー 時差Biz号」を運行

立教大学経営学部
教授／経済学博士

高岡 美佳



し、2020年2月のダイヤ改正時に同じく時差通勤を目的として京王ライナーの増発を実施しました。一昨年に京王プラザホテル多摩にオープンした会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」でのテレワーク推進の取り組みと合わせて、東京都から「スムーズBiz推進大賞推進賞」を受賞したことは、京王グループの先見の明だと考えられます。それ以外にも、京王自動車は、2020年6月から11月までの期間限定で青梅市内のお客様の買い物付き添いや買い物代行サービスを行う「京王すまいるサポートタクシー」を運行しており、京王グループは、沿線住民や地域のニーズを的確にとらえてサポートする試みを常に行っています。京王グループの社会的責任意識の高さを評価したいと思います。なお、グループ内の人材活用と働きやすい職場づくりについては、2020年度に不妊治療のための休職制度を導入するなど、ライフステージに応じた両立支援が一層拡充しました。管理職に占める女性比率も10.0%と上昇し、多様な人材が活躍できる職場づくりが整備されているように見受けられます。

環境報告のパートでは、京王グループの多角的な環境活動が紹介されています。今年度は、2019年9月に築29年の複合ビルをリノベーションして「KIRO 広島 by THE SHARE HOTELS」をオープン、同年11月に岩手県宮古市において太陽光発電事業を開始するなど、多彩な環境保全活動が展開されました。また、2019年度は、鉄道事業部門と開発事業部門において、前年度と比べて電力使用量／CO₂排出量が減少したほか、両部門における廃棄物排出量も前年を下回りました。新型VVVFインバータ制御装置への順次切り替え、車内照明のLED化といった鉄道事業部門の取り組みに加えて、開発事業部門におけるリノベーション事業の推進など、環境負荷が低い鉄道事業を中心に営む企業グループであるにもかかわらず、低炭素社会や循環型社会の実現を目指して熱意をもって環境活動を推進する京王グループを高く評価したいと思います。すでに高いレベルに達している京王グループの環境対策ではありますが、引き続き力を注いでいただきたいと思います。